

「ジオパーク讃岐」の認定取得に向けての提言
～ジオパーク認定取得による香川県の活性化を目指して～



《飯野山（讃岐富士）と周辺の山々》

平成24年12月21日

一般社団法人香川経済同友会

目 次

はじめに	1
提言	2
1. ジオパーク讃岐の認定取得へ向けた組織を立ち上げること	
2. 自然遺産に対する県民意識の向上に取り組むこと	
3. 人材育成の早期着手と新規雇用の創出に取り組むこと	
資料1	4
資料2	5
資料3	6
一般社団法人香川経済同友会 地域主権委員会 活動経過	7

「ジオパーク讃岐」の認定取得に向けて

～ジオパーク認定取得による香川県の活性化を目指して～

はじめに

ジオパークとは、地層や岩石、地形、火山、断層など大地に関わる様々な自然遺産を主な見所とする自然の中の公園です。ジオパークは地質学上の研究対象であるとともに、自然と人間との関わりを理解する場所として整備され、科学や防災教育の場として、また新たな観光資源として地域の振興に活かされます《資料1》。

2004年にユネスコ(UNESCO、国際連合教育科学文化機関)の支援のもと、世界ジオパークネットワーク(GGN: Global Geoparks Network)が設立されました。世界ジオパークとは、GGNの審査・承認を得られた地域で、2012年10月現在、日本を含む世界27カ国92地域のジオパークが世界ジオパークに認定されています。日本においては2009年8月に洞爺湖^{とうやこ}有珠山^{うすざん}、糸魚川^{いといがわ}、島原半島^{しまばらはんとう}の3地域が初めて世界ジオパークに認定され、2010年10月には山陰海岸^{さんいんかいがん}、2011年9月には室戸^{むろと}が認定されました。

一方、日本ジオパークは、GGNとは別に、日本ジオパーク委員会(JGC: Japan Geopark Committee)が認めた国内版のジオパークです。世界ジオパークの認定を受けるためには、日本ジオパークに認定されている必要があります、2012年10月現在、25地域が日本ジオパークに認定されています《資料2》。

わが香川においても、讃岐平野には昔話に出てくるようなおむすび型の山が点在しており、瀬戸内海に張りだした台地状の屋島は県都高松の象徴的な景色となっています。これらは約8000～9000万年前の花崗岩が土台となり、約1300万年前の瀬戸内火山岩類が飯野山^{いいのやま}(讃岐富士^{さぬきふじ})のような円錐形の小山や屋島のような台地を創り出しています。このような地形はまさに香川独特の地質が生み出したものであり、他の地域にはないユニークかつ貴重な風景であると言えます《資料3》。

これら香川の風景を支えている特徴的地質はジオパークとしてふさわしいものでありますが、ジオパークの認定を受けるには、素材の良さだけでなく地元地域の活動が重要となります。県民が身の回りにある自然に対して自信と誇りを持つために、まずは自然遺産に対する県民の認識を深めることが不可欠です。また、原風景の保全やジオパークに関する見識を深めた人材の育成など、地道な活動が必要になります。そこで香川経済同友会では、香川県内の「ジオパーク讃岐」実現に向けた機運向上を期待するとともに、ジオパーク認定の早期実現に向けた取り組みを香川県に対して要望するため提言を行います。

平成24年12月21日

代表幹事 乾 篤之
代表幹事 川村 延廣
地域主権委員長 前田 宗一

提 言

香川県は古来より、地質学的観点あるいは歴史的観点から見ても、貴重な資産の上に在ります。県民と共に、地質や歴史の研究を積み重ね、ジオパーク認定取得に向けた活動を展開することは、県民の故郷に対する自信と誇りを喚起することに繋がります。また、「地域の自然資源や文化資源を保護し、教育の普及に利用し、さらにはジオツーリズムを通じて地域社会の活性化と持続的な発展を目指す」というジオパークの理念にもある通り、香川県の観光復興にも大きく寄与するものと考えます。

香川経済同友会としては、香川の自然遺産がまず日本ジオパークの認定を受け、その延長線上には世界ジオパークの認定も視野に入れた活動を展開する必要があると考えます。「ジオパーク讃岐」の実現に向け、香川県内の産学官の協力体制が構築され、認定取得に向けた取り組みがなされるよう、以下の事項について検討・実行されることを要望します。

1. ジオパーク讃岐の認定取得へ向けた組織を立ち上げること

地元行政機関、地域社会ならびに民間団体における運営・財政計画の有無が、ジオパーク認定の成否を分けるものとする。その為には、香川県が主体となって市民及び地元民間団体そして大学等の教育機関がサポートする体制を構築しなければならない。それらの中枢機関として、観光交流・文化振興・教育等の部署をクロスオーバーさせた横断的な推進組織を香川県庁に設置し、情報の収集や発信、企画立案、他組織との調整等を求める。

2. 自然遺産に対する県民意識の向上に取り組むこと

香川県が真の自立（地域主権）を実現するには、香川県民が地元の自然や文化、伝統に自信と誇りを持つことが前提条件になる。我々の周りにある日常的な風景は、他の地域にはない貴重な資源であるという自覚が県民に芽生えることで、より主体的な地域主権が実現できるものとする。自然遺産に対する県民の意識を向上させるためにも、香川県が中心となり啓蒙活動や広報活動を推進し、ジオパークへの見識を深める機会を県民に広く提供すべきとする。その取り組みは、県民の環境保全、環境保護に対する意識向上にも繋がり、教育の観点から見た場合も極めて有意義なものとする。

3. 人材育成の早期着手と新規雇用の創出に取り組むこと

香川の実風景や貴重な地質がジオパークとして認められた場合、「ジオパーク讃岐」は「アート県」に続く香川県の代名詞になり得るものとする。その効果として観光客の増加が期待される一方、香川県としてはその受入体制を整えておかななければならない。ジオパー

クの理念には観光(ジオツーリズム)による地域活性化が含まれており、自然観察路のガイド付きツアーなどは極めて重要なテーマである。様々な風景の成り立ちや地質などに精通した人材を早期に育成し、ジオツーリズムを通じた観光産業の復興、新規雇用の創出等に取り組むことを求める。

以 上



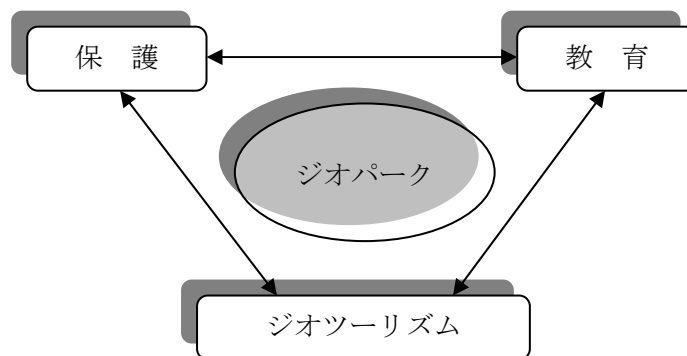
《朝焼けの屋島と海を行き交う船》

■ ジオパークの理念について

世界ジオパークネットワーク（GGN）によるジオパークの理念は以下の通りです。

「ジオパークは、地形・地質的に見て価値の高い地質遺産を多数含むだけでなく、考古学的、生態学的もしくは文化的な価値のある地域のことである。これらの自然資源・文化資源を保護し、教育の普及に利用し、さらにはジオツーリズムを通じて地域社会の活性化と持続的な発展を目指す。」

※ジオツーリズムとは、地形・地質や生態系、さらには地域の歴史・伝統・文化を対象とする観光のこと。ジオツーリズムではそれら地域資源を保全しつつ活用することで地域経済の活性化を目指す。



また、2008年6月にドイツのオスナブリュックで開催された第3回ユネスコ国際ジオパーク会議では、採択された宣言の中に「地質災害に関して社会と知識を共有するためにジオパークが役に立つ」という趣旨の一文が盛り込まれるなど、防災への取り組みも重視されている。（日本ジオパーク委員会H. Pより）

※参考：世界のジオパーク編集委員会・日本ジオパークネットワーク共編
「世界のジオパーク」 出版／オーム社

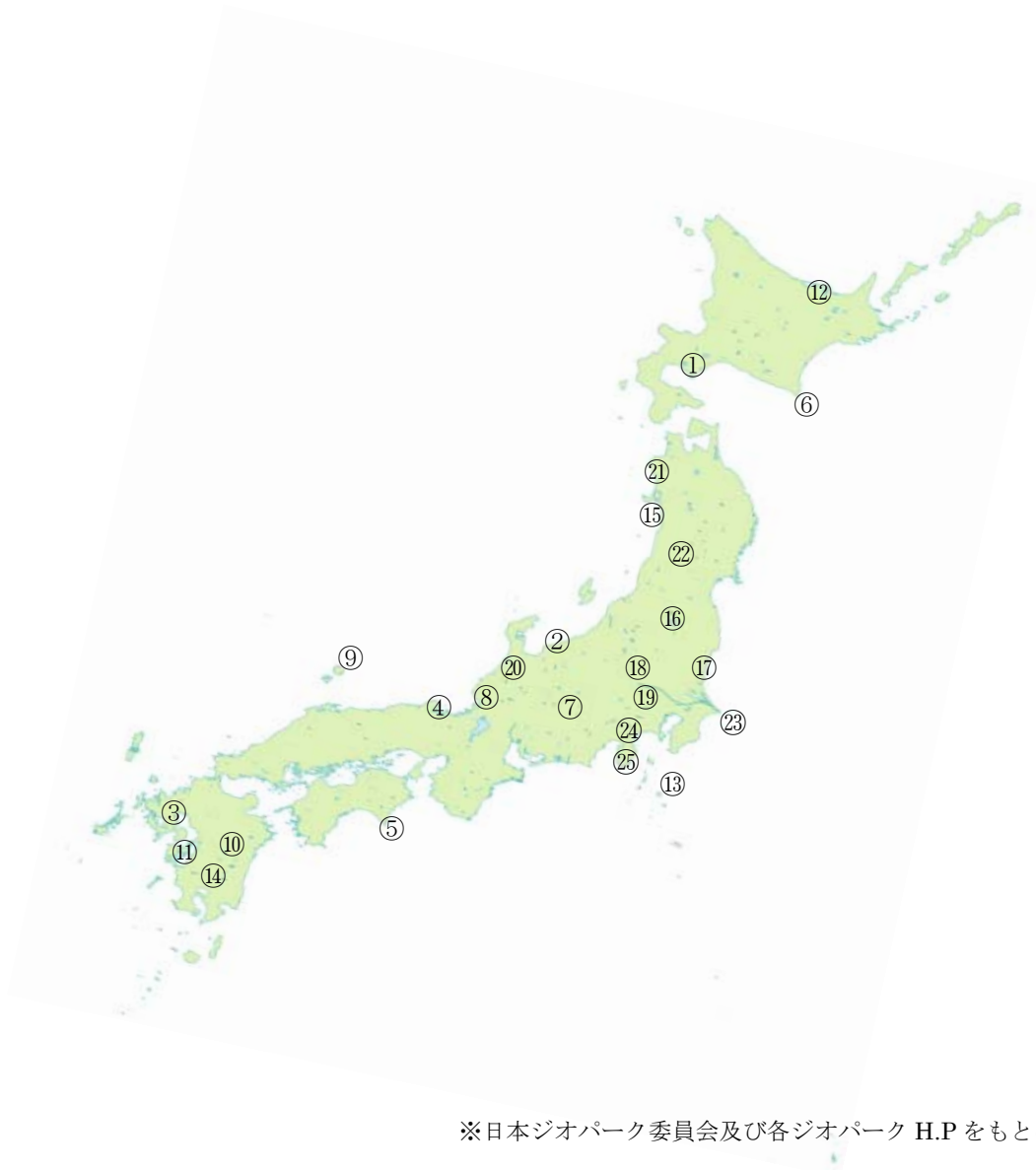
■日本国内のジオパークについて（2012年10月現在）

《日本ジオパーク認定（25か所）》

- ①洞爺湖有珠山 ②糸魚川 ③島原半島 ④山陰海岸 ⑤室戸 ⑥アポイ岳
⑦南アルプス ⑧恐竜渓谷ふくい勝山 ⑨隠岐 ⑩阿蘇 ⑪天草御所浦 ⑫白滝
⑬伊豆大島 ⑭霧島 ⑮男鹿半島・大湍 ⑯磐梯山 ⑰茨城県北 ⑱下仁田 ⑲秩父
⑳白山手取川 ㉑八峰白神 ㉒湯沢 ㉓銚子 ㉔箱根 ㉕伊豆半島

《世界ジオパーク認定（5か所）》

- ①洞爺湖有珠山 ②糸魚川 ③島原半島 ④山陰海岸 ⑤室戸

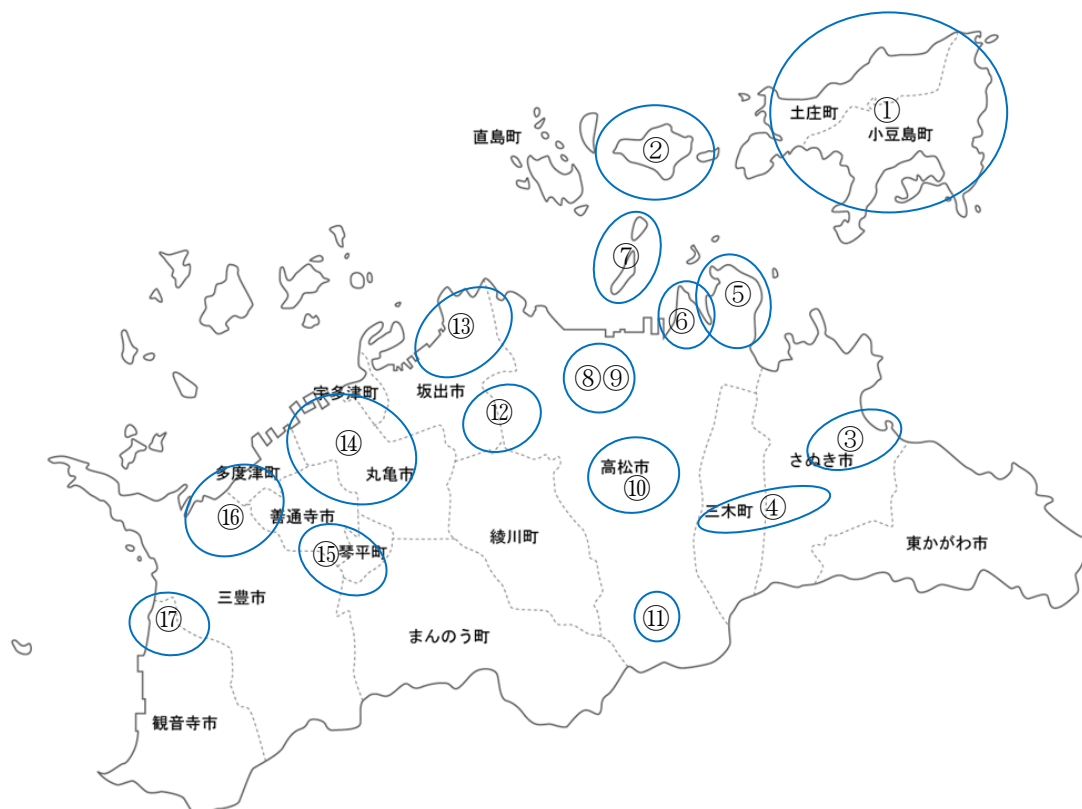


※日本ジオパーク委員会及び各ジオパーク H.P.をもとに作成

■香川県内の自然遺産（ジオサイト）

- ①小豆島^{しょうどしま} ②豊島^{てしま} ③雨滝山・火山^{あめたきさん ひやま} ④長尾断層^{ながおだんそう} ⑤五剣山・庵治石^{ごけんざん あんじいし} ⑥屋島^{やしま}
 ⑦女木島・男木島^{めぎしま おぎしま} ⑧栗林公園^{りつりんこうえん} ⑨石清尾山^{いわせおやま} ⑩高松クレーター^{たかまつ} ⑪塩江温泉^{しおのえおんせん}
 ⑫国分台・鷲ノ山^{こくぶだい わしのやま} ⑬五色台・金山のサヌカイト^{ごしきだい かなやま} ⑭丸亀平野・飯野山^{まるがめへいや いいのやま} ⑮大麻山・
 金刀比羅宮^{ことひらぐう} ⑯爺神山・弥谷山^{おやみやま いやだにやま} ⑰有明浜・七宝山^{あまぎりやま ありあけはま しっぽうざん}

※これらの自然遺産はあくまでも例であり、香川県内にはその他にも多くの自然遺産が現存しています。



※香川大学工学部 長谷川修一教授より資料提供

一般社団法人香川経済同友会 地域主権委員会 活動経過

- ◆平成 23 年 12 月 22 日（木） 場所／香川紺屋町ビル 4 階 会議室
平成 23 年度第 3 回 地域主権委員会
講演 「讃岐ジオパークを目指して」
講師 香川大学工学部 教授 長谷川修一氏

- ◆平成 24 年 3 月 3 日（土） 場所／高松テルサ大会議室
平成 23 年度第 5 回 地域主権委員会
「讃岐ジオパークをめざすシンポジウム」
 - ・特別講演 「サヌカイトはなぜできたのか？ーマグマ成因論の最前線ー」
講師 (独)海洋研究開発機構プログラムディレクター 巽 好幸氏
 - ・パネルディスカッション 「讃岐ジオパークをめざして」
 - コーディネーター 香川大学工学部 教授 長谷川修一氏
 - パネリスト (独)海洋研究開発機構プログラムディレクター 巽 好幸氏
室戸ジオパーク推進協議会 柴田伊廣氏
香川短期大学 准教授 中俣保志氏
讃岐ジオサイトをジオパークに登録する会 藤川武人氏
香川経済同友会 副代表幹事 前田宗一氏

- ◆平成 24 年 3 月 13 日（火） 場所／香川紺屋町ビル 6 階 事務局会議室
平成 23 年度第 6 回 地域主権委員会
講演 「讃岐ジオパークへの期待」
講師 独立行政法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門層序構造地質研究グループ
日本第四紀学会企画担当幹事 植木岳雪氏

- ◆平成 24 年 6 月 4 日（月） 場所／香川紺屋町ビル 6 階 事務局会議室
平成 24 年度第 1 回 地域主権委員会
講演 「地域活性化とジオパーク」
講師 讃岐ジオサイトをジオパークに登録する会 代表 藤川武人氏

◆平成 24 年 9 月 11 日（火） 場所／香川紺屋町ビル 6 階 事務局会議室
平成 24 年度第 2 回 地域主権委員会
ジオパーク讃岐の認証取得に関する提言「ジオパーク讃岐認証取得運動による香川県の活性化に向けて」（案）について意見交換

◆平成 24 年 11 月 19 日（月） 場所／香川紺屋町ビル 6 階 事務局会議室
平成 24 年度第 3 回 地域主権委員会
「ジオパーク讃岐」の認定取得に向けての提言（案）について意見交換

一般社団法人香川経済同友会 地域主権委員会 名簿

代表幹事	乾 篤之	大豊産業(株)	代表取締役社長
	川村 延廣	百十四リース(株)	代表取締役社長
担当副代表幹事	加藤 宏一郎	(株)瀬戸内海放送	代表取締役社長
委員長	前田 宗一	(社)香川県資源研究所	理事長
副委員長	竹内 麗子	(有)ライブハウジング	専務取締役
	木原 茂	(株)日本政策投資銀行 四国支店	支店長
	谷口 邦彦	谷口建設興業(株)	代表取締役社長
副代表幹事	本田 展稔	富士ダンボール工業(株)	代表取締役社長
特別幹事	木村 大三郎	ネッツトヨタ高松(株)	代表取締役会長
	松田 清宏	四国旅客鉄道(株)	代表取締役会長
	牟禮 昌忠	牟禮印刷(株)	代表取締役社長
常任幹事	太田 富雄	(株)オオタ	代表取締役社長
	小笠原 啓二	四電ビジネス(株)	代表取締役専務
	鎌田 郁雄	鎌田醤油(株)	代表取締役社長
	佐藤 邦明	大川自動車(株)	代表取締役
	武井 邦夫	(株)四電工	取締役社長
	津島 惣一郎	(株)坂出郵船組	代表取締役社長
	西村 泰昌	西村ジョイ(株)	代表取締役
	三谷 朋幹	丸善工業(株)	代表取締役社長
幹事	大山 一郎	(株)ミセス花子	専務取締役
	小竹 和夫	小竹興業(株)	代表取締役社長
	佐伯 直治	小豆島総合開発(株)	代表取締役社長
	佐藤 仲英	(株)香川バンケットサービス	専務取締役
	新谷 清二	ハウス美装工業(株)	代表取締役
	西山 司朗	西山司朗法律事務所	代表
会員	朝倉 一郎	光工業(株)	代表取締役
	東 博夫	東宝物産(株)	代表取締役社長
	神余 智夫	(株)清和設計事務所	代表取締役
	小汐 保平	宝食品(株)	取締役
	十河 章	医療法人彰志会	理事長
	竹本 正憲	(株)みどり財産コンサルタンツ	代表取締役社長
	平井 範明	平井法律事務所	弁護士
	山田 栄	(株)カナック	顧問
	吉岡 満	ア不動産	代表者
事務局	元山 清	(一社)香川経済同友会	専務理事事務局長
	澁谷 亮広	(一社)香川経済同友会	調査課長



《丸亀平野に浮かぶ山々》

「ジオパーク讃岐」の認定取得に向けての提言
～ジオパーク認定取得による香川県の活性化を目指して～

平成 24 年 12 月 21 日発行

発行 一般社団法人 香川経済同友会
専務理事事務局長 元山 清

〒760-8691 高松市紺屋町 1 番地 3 香川紺屋町ビル 6 階
TEL 087-821-8754 FAX 087-823-1160
E-mail kkdoyu@orange.ocn.ne.jp
URL <http://www.kagawadoyukai.or.jp>

(一社)香川経済同友会提言 No.38

- ・写真提供 ニノ宮博之氏
 - ・本書の無断コピー・転載はお断りします。
-